

国際交流活動

国際化センター 矢野恭弘

高橋和也学園長のもと、2016年6月に国際化センターが発足した。それ以前から実施されていたプログラムも含めて、どのような国際交流活動が行われているかここに概要をまとめる。(『自由学園年報』第19号「海外との交流」参照。注)

なお、資料は2019年11月現在のものを掲載。

I. 国際交流の基本理念

自由学園は創立以来、キリスト教精神を土台とし、「自由・協力・愛による新社会」の建設と、「共に生きる社会」の実現を目指して教育活動に取り組んできた。その活動の範囲は、地域社会から始まり、国の枠を超えた多文化理解、多文化共生を目指した活動に広がってきた。現在、グローバル化を背景として国際社会が抱える課題が複雑化、深刻化していく状況の中で、多様性や地球規模での問題意識を共有する「共に生きる社会を創る」資質はますます重要なものになっている。

高橋和也学園長は、「自由学園を世界に、世界の課題をキャンパスに」という標語のもと、環境教育推進ビジョンと共に、国際交流推進ビジョンを策定し、2016年6月に国際化センターを発足させた。

国際交流ビジョンは、「一貫教育を生かした外国語教育の充実」「教室の国際化」「海外留学の促進」「海外の学校との連携」「世界の課題の学習」の5つの柱からなる。授業の改善だけでなく、広く外国語、外国文化に触れる機会を増やし、さらなる国際化推進につなげて、自立した地球市民として、国際平和に貢献できる人の育成を目標とする。

II. 交換協定締結

1. フィンランドのアラヤルヴィ高校と交換協定

フィンランド日本教育文化協会理事長 Heikki Makipää (ヘイキ・マキパー) 氏の仲介により、2014年7月に、自由学園、アラヤルヴィ高校、同協会の三者間で交換協定が締結され、相互に短期交換留学生を派遣・受入を実施することになった。(実

施年月日、生徒数など後述) その後、アラヤルヴィ高校の校長が兼任するヴィンペリ高校も加わり、現在は両校から生徒が来校し、学園生は毎年交互に両校のどちらかに留学している。

2. ポーランドのポメラニアン大学と交換協定

交換留学先の大学を探していたポーランドのズブスク市にあるポメラニアン大学の関係者が、最高学部卒業生保護者の紹介で2016年9月に自由学園を訪問し、提携の提案があり、2016年12月に同校と最高学部の間で交換協定を締結し、双方から交換留学生の派遣・受入を始め、2019年度からは相互に隔年で派遣・受入をすることとなった。(実施年月日、学生数などは後述)

III. 受け入れ

海外からの英語助手、体操講師、交換留学生の受け入れに当たって、在校生(女子部、男子部、初等部)の家庭および卒業生の家庭がホームステイをお引き受け下さっている。何か月かにわたる場合や、2、3日から2週間という場合もあるが、ホストファミリーとして気持ちよく引き受けて下さりお世話をしてくださるからこそ、このプログラムが遂行され得る。ご協力くださった皆様に、この場を借りてあらためて感謝を申し上げたい。ご家庭でも、海外の国や人々を身近に感じることができるよう機会だと喜んでくださっているのもありがたい。

また、学部生の寮である光風寮(女子)や記念学寮(男子)でも受け入れが実現しており、学部生たちとのよい交流の場になっている。ここ何年かは、1泊だけだが、高校生を清風寮(女子)や東天寮(男子)に迎えて、自由学園の生活教育を体験してもらうこともできるようになったことも嬉しいことである。

1. 英語助手招聘

矢野は英国の中等教育視察のため1991年9月から12月まで英国のパブリックスクールの一つ

である Charterhouse 校に滞在、パブリックスクールを中心に 25 校を訪問した。それを機にギャップイヤーを利用した英国青年の英語助手招聘が始まった。実は、英語助手の来校は、1981 年 9 月から 1 年間(羽仁恵子学園長在任中)、この制度を利用した Benedicte Ivy さんが最初だ。Ivy さんは私が学んだオックスフォード大学の Keble College に入学が決まっていた、その縁での来校だった。彼女は 1 年間、当時婦人之友社勤務の 0 さんご夫妻(学園町在住)のお宅にホームステイをした。

その後、しばらく途絶えていたものが、1993 年 3 月から新たに始まり、現在まで 37 人の若者が英語助手を務めている。その氏名、期間、出身校は以下の通り。(* 印女子)

- ① John-Paul Temperley 1993 年 3 月～8 月
King Edward' s School, Birmingham
- ② Thomas Heneker 1993 年 10 月～1994 年 8 月
Charterhouse
- ③ Tim Marsden 1994 年 9 月～1995 年 8 月
Charterhouse
- ④ Rupert Ireland 1996 年 4 月～7 月
Harrow School
- ⑤ Alex Flyth 1997 年 1 月～7 月
St. Paul' s School
- ⑥ Marie Tabor* 1998 年 9 月～1999 年 6 月
Haberdashers' Aske' s School for Girls
- ⑦ Tom Jones 1999 年 1 月～7 月
St. Paul' s School
- ⑧ Leonard Picardo 2001 年 4 月～7 月
St. Paul' s School
- ⑨ Sachiko Taoka* 2001 年 4 月～7 月
Channing School
- ⑩ Jonny Lloyd 2003 年 1 月～7 月
St. Paul' s School
- ⑪ Kento Taoka 2004 年 9 月～2005 年 3 月
Haberdashers' Aske' s Boys' School
- ⑫ Mark Stanford 2005 年 9 月～2006 年 7 月
Cambridge University
- ⑬ Adrian Coveney 2006 年 1 月～7 月
Haberdasher' s Aske' s Boys' School
- ⑭ Tom Risdon 2007 年 1 月～7 月
St. Paul' s School
- ⑮ Michael Sunda 2007 年 9 月～2008 年 7 月
St. Paul' s School
- ⑯ Andrew Maloney 2010 年 9 月
Christ' s Hospital
- ⑰ Mita Suri* 2011 年 4 月～7 月
Haberdashers' Aske' s School for Girls
- ⑱ Alex Arbis 2012 年 9 月～11 月
Winchester College
- ⑲ Alex Shaw 2013 年 4 月～7 月
Winchester College
- ⑳ George Garrett 2013 年 9 月～12 月
Winchester College
- ㉑ Jacques Cockell 2014 年 4 月～7 月
Winchester College
- ㉒ Inigo Carro 2014 年 9 月～2015 年 3 月
Winchester College
- ㉓ Zachary Tiplady 2015 年 4 月～7 月
Winchester College
- ㉔ Roderic (Bertie) Robertson 2015 年 9 月～12 月
Winchester College
- ㉕ Adam William Denyer Rose 2016 年 4 月～7 月
Winchester College
- ㉖ Ruby Koopman* 2016 年 4 月～7 月
Haberdashers' Aske' s School for Girls
- ㉗ Claire Schlaikjer* 2016 年 4 月～7 月
Haberdashers' Aske' s School for Girls
- ㉘ Wilfred Fisher 2016 年 9 月～12 月
Winchester College
- ㉙ Alexander Osband 2016 年 9 月～2017 年 3 月
Winchester College
- ㉚ Tobin Cleary 2017 年 4 月～7 月
Winchester College
- ㉛ Sophie Suki Chan* 2017 年 4 月～7 月
Haberdashers' Aske' s School for Girls
- ㉜ Toby Phillips 2018 年 4 月～7 月
Winchester College
- ㉝ Samantha Nead* 2018 年 4 月～7 月
Haberdashers' Aske' s School for Girls
- ㉞ Tom Pike-Caesar 2018 年 9 月～12 月
Winchester College
- ㉟ Lara Ritchie* 2018 年 11 月～2019 年 7 月
Cheltenham Ladies' College

- ③⑥ Henry Adams 2019年4月～7月
Winchester College
- ③⑦ Jocelyn Greig 2019年9月～12月
Winchester College

2. オレロップから講師招聘

自由学園とデンマークにあるオレロップ体育アカデミー(旧名オレロップ体操学校)との関係は、同校創設者のニルス・ブック(Niels Bukh)氏が、1931年9月にエリートチームを連れて学園を訪問し演技披露をしたことから始まる。1934年4月に創立者は2人の若い女子卒業生を同校に派遣、2人は1年半後に帰国した後、体操教師として自由学園のデンマーク体操の基礎を築いた。戦後、体操の指導者や卒業生が何人も同校に留学し、また同校のエリートチームも学園を訪問し体操会などで演技を披露し交流が深まった。ウッフエ校長に体操講師派遣を要請し実現したのが2003年、以来2019年まで17年にわたって、同校の卒業生2人(女子2人が来た2006年を除いて、男女一人ずつ)が9月から11月末または2学期末まで学園に滞在し、地方の友の会幼児生活団訪問も含め、体操の指導をしている。

講師の氏名は以下の通り。

- 2003年 David Christensen Grevy, Malene Nielsen ;
- 2004年 Anders Mastrup, Mette Madsen ;
- 2005年 Henrik Smedgaard Jensen, Anna M. Vestergaard Kinoshita ;
- 2006年 Christina Schultz Kjeldsen, Agnete Ilsoe Larsen ;
- 2007年 Anders Hojris Jensen, Stinne Uldum Moeller Nielsen ;
- 2008年 Kim Jespersen, Lisa Burr ;
- 2009年 Jakob Elton Jensen, Louise E. Knudsen ;
- 2010年 Esben Lysemose, Sofie Rundmose ;
- 2011年 Peter Sabro, Maria Nebbergaard ;
- 2012年 Thomas Bech Jacobsen, Marie Moeller Joergensen ;
- 2013年 Kasper Linderøth, Line Nielsen ;
- 2014年 Kristoffer Brown, Signe Stampe Sørensen ;
- 2015年 Christian Mouritsen, Louise Lind ;

- 2016年 Mathias M. Jepsen, Rikke G. Nielsen ;
- 2017年 Christian I. Deichgraeber, Dinne F. Andersen ;
- 2018年 Anton Sams, Sophie L. Troelsen ;
- 2019年 Tonko Bossen, Rosa Sommerlund ;

3. 交換留学生

交換留学生を受け入れた国、日程、受け入れた生徒・学生氏名は以下の通り。

(1) フィンランド(アラヤルヴィ高校・ヴィンペリ高校2年生)

- ① 2014年9月5日～2015年3月24日
Kaisa Haapaniemi(女子、Alajärvi)
- ② 2016年6月19日～7月3日
Salla Hallapuro(女子、Vimpeli), Victoria Bamberg(女子、Alajärvi), Emilia Koivunen(女子、Alajärvi)
- ③ 2017年5月10日～19日
Katariina Arpala(女子、Vimpeli), Liisa Sorvali(女子、Alajärvi), Eetu Riihimäki(男子、Vimpeli), Niklas Mäkelä(男子、Alajärvi)
- ④ 2018年4月14日～30日
Janna Koskela(女子、Vimpeli), Elli Mustonen(女子、Vimpeli), Netta Puro(女子、Alajärvi), Joonas Etula(男子、Alajärvi)
- ⑤ 2019年5月9日～17日
Roosa Shemeikka(女子、Vimpeli), Juuso Vesala(男子、Vimpeli), Timoteus Kivikangas(男子、Alajärvi), Akseli Vähälä(男子、Alajärvi)

(2) ポーランド(ポメラニアン大学)

- ① 2017年10月31日～11月14日(音楽科の教授・職員5人と学生たち6人)
Prof. Monika Zytke(指揮者)、Katarzyna Wyporska-Wawrzczak(女性、振り付け)、Dariusz Domanski(男性、ギター)、Lukasz Jankowski(男性、ピアノ)、Wojtek Bialoskorski(男性、音響技師)、以下6人はすべて女子学生 Marta Zaborowska、Julita Kuczborska、Monika Książek、Joanna Perszon、Agata Plotka、Dagmara Kapiszka。
- ② 2019年6月1日～15日(モニカ先生と英語科

の教授1人、女子学生5人、男子学生3人)

Prof. Monika Zytke、Prof. Małgorzata Ekiert、
以下学生 Paulina Pawluszek、Edyta Darżnik、
Marta Lenczewska、Agata Sobiczewska、Maria
Więcka、Władysław Miciński、Krzysztof Wojda、
Michał Wocial。

③ 2019年10月24日～11月7日(副学長とモニ
カ先生、女子学生10人、男子学生1人)

Prof. Danuta Gierczyńska、Prof. Monika Zytke、
以下学生 Hanna Łosińska、Julita Kuczborska、
Monika Książek、Adriana Kustusz、Małgorzata
Gwardyś、Małgorzata Łukaszewicz、Natalia Pikul、
Katarzyna Baj、Karolina Oszmaniec、Marta Deyk、
Michał Gieruszczak。

(3) アメリカ(以下の2校とも New York 市内に
あり、前者は私立の寮のある学校、後者はブロン
クスにある公立高校)

1) The Masters School 2017年6月25～27日

Dr. Robert Fish 先生、Joy Juan 先生、男子生
徒6人、女子生徒8人

2) Bronx Collaborative High School 2018年
6月29日～7月3日

Emi Yamasaki 先生、Carol Kinney 先生、Deborah
Katz 先生、男子生徒4人、女子生徒9人

4. その他の交流活動

以上のほか、生徒・学生を連れて、1日だけ、あ
るいは2、3日、自由学園を訪問し、授業見学や
参加をして交流する機会があり、以下の通り実施
された。

(1) アメリカ Kamehameha Schools, Hawaii

① 2017年6月9日～11日 Yumi Kasukawa 先
生、Yuki Yano 先生、男子生徒4人、女子生徒5人

② 2019年6月7日～9日 Yumi Kasukawa 先
生、Jan Ching 先生、男子生徒4人、女子生徒5人

(2) イギリス Cheltenham Ladies' College
2018年10月22日 Matt Gill 先生、Yayoi
Takahashi 先生、他先生2人、生徒26人

(3) デンマーク

1) Ranum Efterskole 以前オレロップからの体
操講師で来校した Anders Hojris 君の勤務してい
た学校で、海外研修コースを受講する生徒たち(15
歳～17歳)の日本訪問に際して、学園生との交流
を希望しての来校が2014年から続いている。

① 2014年1月17日 Anders Hojris 先生、他
先生1人、生徒12人

② 2015年1月19日 先生2人、生徒20人

③ 2016年1月18日 28人

④ 2017年1月23日 Thomas Bjerg 先生、他
先生2人、生徒28人

⑤ 2018年1月23日 Thomas Bjerg 先生、他
先生2人、男子生徒13人、女子生徒15人

⑥ 2019年2月5日 Thomas Bjerg 先生、他先生
2人、男子生徒9人、女子生徒3人

2) University Choir Lille Muko (コペンハーゲ
ン大学合唱団)

2015年7月2日 40人、記念講堂で生徒たち
にコンサート

3) Egmont Højskolen (エグモント・ホイスコ
レン)

2016年4月4日～7日 学生たち女子24人、
男子18人光風寮と学部棟に宿泊

4) Bøling Idrætsefterskole (ボーリング体育学
校)

2016年10月15日～17日 同校卒業生の体操
チーム(17歳～24歳)男子15名、女子14名

5) Kolding Musikskole (コリン音楽学校)

2018年5月24日 一行13人(演奏者10人、
引率3人)、みらいかんでコンサート

6) Rigtige Maend (Real Men) 以前オレロップ
からの体操講師で来校した Kasper Linderoth 君
の所属する、男子のみで構成される体操チーム

2018年10月19日～21日 29名、男子部女子
部の授業でワークショップを実施、大芝生で演技
披露

(4) フランス Le Collège Lycée Saint-Martin (レンヌ市にあるサン・マルタン高校)

2017年10月23日 先生2人、生徒10人

(5) 韓国

1) Torch Trinity Graduate University (トーチ・トリニティ神学大学院大学)

①2017年6月29日 Prof. Eiko Takamizawa 先生、大学院生9人

②2019年7月2日 Prof. Eiko Takamizawa 先生、他教授1人、学生8人

2) 韓国ボーイスカウト

2019年1月16日 韓国ボーイスカウト指導者4名、スカウト36名(男子19名、女子17名)、日本側関係者5名

(6) 日本 Christian Academy in Japan (CAJ)

(東久留米市内にあるアメリカン・スクール)

CAJとは、お互いに学校訪問をして交流する機会を時々持っている。

5. 教育関係者の訪問

(1) デンマーク

① 2016年11月18日 エグモント・ホイスコーレン

車椅子の学生が来校、ノルウェーの山に登山したドキュメンタリー映画の上映と質疑応答

② 2018年3月28日 デンマーク教育大学

Ning de Coninck-Smith先生を中心とするグループ20人(Asger Røjle Christensen氏のお世話)

③ 2018年9月27日 Bent Gangelhof氏引率

私立小中学校の校長先生一行9人

④ 2018年10月23日、24日 エグモント・ホイスコーレン

同校学生のドキュメンタリー映画『サマーキャンプ in 焼津』を制作した監督Mathias Klok氏、映画上映とお話

⑤ 2019年3月12日デンマーク国立交響楽団

3人の楽団員がChristensen夫妻と共に来校、女子部食堂で演奏

⑥ 2019年5月20日 オレロップ体育アカデミ

一の責任者Cristiane Fiorin-Fuglsang氏

⑦ 2019年6月19日デンマーク国立少女合唱団
担当者Anne Karine Prip氏とPeder Holm氏

⑧ 2019年9月9日 エグモント・ホイスコーレン校長Søren Mølgaard Kristensen氏

(2) フィンランド

① 2016年6月7日～10日 ヘルシンキの小学校の先生Mrs Eeva Tiusanen、Ms Nina LatvakangasとMs Saara Mäntykoskiの3人が、光風寮に泊まり4日間にわたって学園全体を見学

② 2016年10月26日 アラヤルヴィ地方の教育

長Esa Kaunisto氏、アラヤルヴィ高校・ヴィンペリ高校兼任のMarko Timo校長先生、アラヤルヴィ高校のJanne Visto先生、ヴィンペリ高校のJuha-Pekka Anttila先生、フィンランド日本教育協会のJuho-Pekka Makipaa氏

③ 2018年10月26日～29日 ヴィンペリ高校のMrs Marja-Leena Pippola先生とアラヤルヴィ高校のMr Kauko Kainulainen先生

(3) スイス

2017年7月31日 教育起業家のMs Marie Tadié氏とAnthony Tâche氏

(4) アメリカ

① 2017年10月25日 サン・フランシスコ Millennium SchoolのMr. Chris Balm校長

② 2018年5月18日 Mr Jeff Schofield of Seattle University, Mrs Hettie Schofield of Washington University 夫妻

(5) ウズベキスタン

2019年3月18日 教員Abdubaxromova Rukhsora Azimovna氏とZamira Tursunovaさん母娘

(6) タイ

2019年5月13日 Assumption College Nakorn Ratchasima 校教職員35名

(7) ドイツ CDJ Berchtesgaden (「ドイツキリスト者青年の村」ベルヒテスガーデン校)

2019年5月16日、17日 Sieglinde

Pfannebecker 氏一行 6人

6. 留学生支援（日本語授業）

これまで受け入れた海外からの留学生の出身国は、ネパール、ガーナ、ミャンマー、中国、台湾、韓国などで、帰国生として入学した生徒が在住していた国としては、中国、韓国、シンガポール、アメリカ、オランダ、ベルギー、ドイツなどがある。このような留学生や帰国生に対して、日本語習得のための個別の日本語授業を実施している。

IV. 派遣

1. 短期交換留学

(1) フィンランド Alajärven lukio (アラヤルヴィ高校)、Vimpelin lukio (ヴィンペリ高校)

① 2015年3月25日～4月7日 アラヤルヴィ高校、女子部高2 櫻井彩乃、手塚真生、増田彩花、教師高松功太郎

② 2016年3月24日～4月7日 アラヤルヴィ高校、女子部高2 石井幸乃、加藤千捺、膳場美緒

③ 2017年3月24日～4月7日 アラヤルヴィ高校、女子部高2 小林りり、田中紗良、西上耶弥

④ 2017年8月17日～30日 ヴィンペリ高校、女子部高2 石丸文香、沼口珠紀、男子部高3 平井裕大、高2 服部昂

⑤ 2018年8月18日～31日 アラヤルヴィ高校、女子部高2 須田帆菜、徐裕那、男子部高2 栗田匠、山岸哲

⑥ 2019年8月16日～31日 ヴィンペリ高校、女子部高2 行形碧衣、山本芹枝、男子部高3 齋藤彪、高2 小山遙志

(2) ポーランド Pomeranian University in Słupsk (ポメラニアン大学)

① 2016年11月26日～12月17日 学部2年 本間優大

② 2017年6月3日～15日 学部3年中田樹、2年石塚隆雅、須山琴美、西ありあ、野村太郎、栗田百々子、教員ジャンセン美穂

③ 2018年1月6日～19日 学部3年上河原真理

④ 2018年5月19日～6月2日 学部4年木下和裕、高橋信人、3年高石梓、2年石井幸乃、教員木村秀雄、研修教員中村佐里

(3) アメリカ ニューヨーク The Masters School, Bronx Collaborative High School

① 2017年3月26日～4月7日 女子部高2 荘加真奈、高1 行場結佳、男子部高1 足立疏史、竹中龍、高橋和也学園長

② 2018年3月25日～4月7日 女子部高1、上野美羽、熊谷郁浦、男子部高1 別所寅楠、中3 スミザー若玖、教師針谷健太

③ 2019年3月25日～4月7日 女子部高1 更科めい、眞鍋三緒、男子部中3 藤田顕次郎、増渕太郎

(4) イギリス Winchester College

① 2015年11月23日～12月12日 男子部高2 西村海輝、古里光

② 2016年11月21日～12月10日 男子部高2 石丸雄大、亀山泰良

③ 2018年11月23日～12月9日 男子部高1 松本和真

④ 2019年11月24日～12月15日 男子部高1 イステッキ海来

2. 長期海外留学

(1) 学部生の海外留学

2003年度から始まった学外研修制度、および2013年度から始まったギャップイヤー制度を利用して海外の学校や施設で学んで帰ってくる学生が毎年何人か出ている。

(2) デンマーク オレロップ体育アカデミー奨学金

2016年度に、同校より授業料・寮費・食費の全額を支給される奨学金制度が始まり、これまでに4人が（うち2人は全額、同じ学期に学んだ2人は按分して）受給している。

① 2016年8月～12月 金森真美

② 2017年8月・10月～12月 須山琴美、本岡紬

③ 2018年8月～12月 原嶋百香

(3) 私費による留学(休学・単位認定制度導入)

ギャップイヤー制度による休学費規定に加え、2017年度より一般の休学費の規定も改定され、休学中は授業料の半額と保護者会費にみを納めることになった。また、同年より、高等科(女子部・男子部)で1年間休学した生徒も、単位認定制度により、1年間の留学単位が認定されれば、留年をしないで、3年間で高等科を修了できるようになった。2017年度は男子部高等科1年生1人、2018年度は女子部高等科1年生1人がこの制度を利用して海外留学をした。

3. 研修旅行

(1) ネパールワークキャンプ

1990年に開始、以後毎年夏に開催、2019年に30回目を迎えた。直近の4年間では以下の日程で実施された。

- ① 2016年7月13日～8月4日 学部生18人、教師3人
- ② 2017年7月15日～8月7日 学部生17人、教師3人
- ③ 2018年7月16日～8月9日 学部生14人、教師3人+2人
- ④ 2019年7月16日～8月9日 学部生9人、保護者1人、教師3人+2人

(2) デンマーク

2011年夏より、女子部教師有志で始められたプログラムが2017年度より全校大で実施されるようになった。

- ① 2017年8月16日～28日 女子部生12人、学部生4人、保護者4人、教師5人、計25人
- ② 2018年8月15日～28日 女子部生12人、男子部生2人、学部生2人、保護者3人、教師5人、計24人
- ③ 2019年8月18日～31日 女子部生10人、男子部生3人、保護者2人、教職員4人、計19人

(3) カンボジア

2016年の春休みより、男子部高等科生対象に始まり、2019年より女子部生も参加するようになった。

- ① 2016年3月25日～4月1日 男子部生17

人、教師1人、計18人

- ② 2017年3月25日～4月1日 男子部生18人、教師2人、計20人

- ③ 2018年3月25日～4月1日 男子部生9人、教師3人、計12人

- ④ 2019年3月26日～4月2日 男子部生15人、女子部生17人、教師3人、計35人

4. その他

(1) World Gymnaestrada(世界体操祭)

- ① 2015年7月12日～18日 フィンランド・ヘルシンキで開催された第15回大会に、学部生有志15名が参加、体操の発表をする。

- ② 2019年7月5日～15日 オーストリア・ドーンビルで開催された第16回大会に、学部生有志13人、付添教師2人が参加、体操の発表をして好評を博す

(2) International Pierre de Coubertin Youth Forum(国際ピエール・ド・クーベルタンユースフォーラム)

- ① 2015年8月27日～9月6日 スロバニアのピエスタニで開催された第10回大会に、女子部高2原嶋百香、男子部高2古里光が選ばれ参加
- ② 2017年8月17日～28日 エストニアで開催された第11回大会に男子部高3酒井大治郎が選ばれ参加
- ③ 2019年8月24日～31日 フランス・マコンで開催された第12回大会に女子部高2高田和実、男子部高2八木暁が選ばれ、日本代表団の付添としての女子部体操教師山田恵子と共に参加

(3) Japan Society Junior Fellows Leadership Program(ジャパン・ソサエティー ジュニア・フェロー リーダーシップ・プログラム)

2019年3月9日～30日 ニューヨークに本拠があるジャパン・ソサエティー主催の短期留学研修プログラムに男子部高1竹川真幸が選ばれて参加

[注] 「海外との交流」『自由学園年報』第19号(2015)、pp. 41-43、自由学園年報委員会